

# 週刊 タバコの正体

タバコの自動販売機やコンビニには、「このタバコは、軽くて身体に優しいですよ」という印象や、気分がスッキリする印象を与えるような広告が貼っています。興味のない人は知らないと思いますが、メンソール味のタバコがあつたりして、ガムやキャンディーと同じような感覚にさせられます。

タバコのフィルターには穴があいていて、ニコチンとタールの量を少なく見せるよう細工されている事は知ってもらいましたが、じつはそのほかにも、次に示すような技術を使って、タバコの印象を和らげているそうです。

## 1) 煙の成分や量を減らす技術

- CO, NO<sub>x</sub>, 多環式芳香族炭水化物などの成分を減らす技術
- 燃焼を促進させる触媒(ナノ粒子, 金属酸化物)を混ぜる技術
- タバコ紙の通気性や酸素含量を上げる技術
- タバコ紙にセラミックスを混ぜて, 煙の臭いや見え方を減らす技術

## 2) 煙の臭いを減らす技術

- 香料で臭いを隠したり, マンダリンオレンジオイルなどを混ぜて臭いを中和する技術
- タバコ紙を幾層かに精製し, その隙間に香料を注入する技術
- 火をつけたり消したりした時にだけ香料が放出されるようにする技術

## 3) 煙を目立たなくする技術

- タバコ紙に使う混ぜ物の量を減らしたり, 不燃性無機物の含量を上げる
- タバコ紙への添加物として, 炭酸カルシウム, 酸素貯蔵材料, 金属酸化物などを用いる

これらに関連する技術は、世界のタバコ会社から特許の申請がされていて、その数は100件を超えているという調査結果もあるそうです。

いかがでしょうか。タバコ産業の企業努力には驚かされますが、素直に感心できません。まるでニコチンやその他の有害物質の“毒性”を隠すかのような技術ばかりですからね。

人々が安全で安心して生活できるような社会貢献をめざしている企業の活動には、「良心的な努力」を感じる事ができますが、明らかに人々の健康を害する商品を守るためにこんな努力をしているなんて、どう感じますか。

くどいようですが、タバコに手をだしてはいけません。

産業デザイン科 奥田 恭久